

平成三十年度 国際学級帰国生入学試験問題

平成二十九年十二月十日 実施

国 語 （三十分）

「注 意」

- 一、試験開始の指示があるまで問題を開いてはいけません。
- 二、問題冊子は六ページあります。試験開始後すぐに確かめてください。
- 三、解答はすべて解答用紙に記入してください。
- 四、問題冊子の表紙および解答用紙に受験番号（算用数字）と氏名をはっきり書いてください。
- 五、字数制限のある場合、句読点・カッコなどはすべて字数に数えます。
- 六、試験終了後、解答用紙だけでなく問題冊子も回収します。
- 七、試験中、机の上から物を落としたり、気分が悪くなったり、何か用ができたりした時は、手をあげて監督かんどくの先生に知らせてください。

受験番号

氏名

東京女学館中学校

一、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

日本人は自己主張が苦手だと言われる。グローバル化の時代だし、もっと自己主張ができるようにならないといけないなどと言う人もいる。でも、日本人が自己主張が苦手なのは理由がある。そして、①それはけつして悪いことではない。

では、アメリカ人は堂々と自己主張ができるのに、僕たち日本人はなぜうまく自己主張ができないのか。

それは、そもそも日本人とアメリカ人では②自己のあり方が違っていて、③コミュニケーションの法則がまったく違って

アメリカ人にとって、コミュニケーションの最も重要な役割は、相手を説得し、自分の意見を通すことだ。お互いにそういうつもりでコミュニケーションをするため、遠慮のない自己主張がぶつかり合う。お互いの意見がぶつかり合うのは

④茶飯事なため、まったく気にならない。

一方、日本人にとって、コミュニケーションの最も重要な役割は何だろう。相手を説得して自分の意見を通すことだろうか。そうではないだろう。僕たちは、自分の意見を通そうというより前に、相手はどうしたいんだろう、どんな考えなんだろうと、相手の意向を気にする。A、できることなら相手の期待を裏切らないような方向に話をまとめたいと思う。意見が対立するようなことはできるだけ避けたい。そうでないと気まずい。

つまり、僕たち日本人にとっては、コミュニケーションの最も重要な役割は、お互いの気持ちを結びつけ、良好な場の雰囲気を出すことなのだ。強烈な自己主張によって相手を説き伏せることではない。

だから自己主張のスキルを磨かずに育つことになる。自己主張が苦手なのは当然なのだ。その代わりに相手の気持ちを察する共感性を磨いて育つため、相手の意向や気持ちを汲み取ることができる。

相手の意向を汲み取って動くというのは、僕たち日本人の行動原理といってもいい。コミュニケーションの場面だけではない。**B**、何かを頑張るとき、ひたすら自分のためというのが欧米式だとすると、僕たち日本人は、だれかのためという思いがわりと大きい。

親を喜ばせるため、あるいは親を悲しませないために勉強を頑張る、ピアノを頑張る。先生の期待を裏切らないためにきちんと役割を果たす。そんなところが多分にある。大人だって、監督のために何としても優勝したいなんて言ったりするし、優勝すると監督の期待に応えることができてホッとしていると言ったりする。

自分の中に息づいているだれかのために頑張るのだ。**C** 自分のためでもあるのだが、自分だけのためではない。

このような人の意向や期待を気にする日本的な心のあり方は、「他人の意向を気にするなんて自主性がない」とか「自分がない」などと批判されることがある。**D**、それは欧米的な価値観に染まった見方に過ぎない。

教育心理学者の東洋^{あずまひろし}は、日本人の他者志向を未熟とみなすのは欧米流であって、他者との絆^{きずな}を強化し、他者との絆を自分の中に取り込んでいくのも、ひとつの発達の方向性とみなすべきではないかという。

そもそも欧米人と日本人では自己のあり方が違う。僕たち日本人が、率直な自己主張をぶつけ合って議論するよりも、だれも傷つけないように気をつかい、気まづくならないように配慮^{はいりょ}するのも、欧米人のように個を生きているのではなくて、**⑤関係性を生きているからだ。**

心理学者のマーカスと北山忍^{しのぶ}は、アメリカ的な独立的自己観と日本的な相互協調的自己観を対比させている。

独立的自己観では、個人の自己は他者や状況といった社会的文脈から切り離^{はな}され、**⑥**そうしたものの影響を受けない独立な存在とみなされる。そのため個人の行動は本人自身の意向によって決まると考える。

それに対して、相互協調的自己観では、個人の自己は他者や状況といった社会的文脈と強く結びついており、そうしたものの影響^{えいきやう}を強く受けるとみなされる。そのため個人の行動は他者との関係性や周囲の状況に大いに**⑦**されると考

える。

このような相互協調的自己観をもつ僕たち日本人は、個としての自己を生きているのではなく、関係性としての自己を
生きている。関係性としての自己は、相手との関係にに応じてさまざまに姿^{すがた}を変える。その場その場の関係性にふさわし
い自分になる。⑧相手との関係性によって言葉づかいまで違ってくる。欧米人のように相手との関係性に影響を受けない
一定不変の自己などというものはない。

（榎本博明「（自分らしさ）って何だろう？」より）

（※出題の都合上、一部表記のしかたを変えたり、省略したりしたところがあります。）

問一 本文中の A D にあてはまる語を次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア そして イ なぜなら ウ たとえば エ でも オ もちろん

問二 — 線①「それはけつして悪いことではない」とありますが、筆者がそのように考えるのはなぜですか。次の中から最も適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア コミュニケーションの法則は、欧米人^{おうべい}と日本人とでも同じはずだから。

イ コミュニケーションの方法はいろいろあり、一つのやり方だけが正しいとは限らないから。

ウ コミュニケーションとは、自分の意見を遠慮^{えんりょ}なくぶつけて相手を説得^{せとく}していくことだから。

エ コミュニケーションで相手を尊重してその絆^{きずな}を自分に取り込むことも、意味のあることだから。

問三 — 線②「自己のあり方」とありますが、アメリカ人と日本人は「自己」についてどのような考え方を持っているのですか。本文中からそれぞれ十字以内で抜き出して答えなさい。

問四 — 線③「コミュニケーションの法則」とありますが、アメリカ人と日本人のそれぞれのコミュニケーションの最大の目的は何ですか。アメリカ人の方は二十字以内、日本人の方は三十字以内でそれぞれ本文中から探し、初めと終わりの五字ずつを答えなさい。

問五 本文中の ④ にあてはまる漢字二字の語を答えなさい。

問六 — 線⑤ 「関係性を生きている」とありますが、どのようなことですか。「自分」「他者」の二語を用いて二十字以内で説明しなさい。

問七 — 線⑥ 「そうしたもの」とは何を指していますか。本文中から十五字以内で抜き出して答えなさい。

問八 本文中の ⑦ にあてはまる正反対の意味の漢字の組み合わせからなる二字の熟語を答えなさい。

問十 — 線⑧ 「相手との関係性によって言葉づかいまで違^{ちが}ってくる」とありますが、そのような例を自分の経験などから考えて、五十字以内で一つ挙げなさい。

二、次の――線部分のカタカナを正しい漢字に直しなさい。

- | | | | | | |
|----|---------|---|----|----|-----|
| 1 | キユウキユウ車 | で | 病院 | へ | 運ぶ。 |
| 3 | 思い | が | け | な | い |
| 5 | ふる | さ | と | に | キセイ |
| 7 | 身 | の | ケツ | パ | ク |
| 9 | みつ | ば | ち | が | カ |
| 2 | ナン | キ | ヨ | ク | 大 |
| 4 | 国 | 語 | の | セイ | セ |
| 6 | 病 | 気 | が | ナ | オ |
| 8 | 人 | 口 | が | ゲン | シ |
| 10 | ス | コ | や | か | に |

(字数制限のある場合、句読点・カッコなどはすべて字数に数えます。)

7

[illegible]

初め

初め

1

[illegible][illegible]

10

[illegible]

9	5	1
10	6	2
やか	る	
	7	3
	8	4

評 点

--	--

--	--